

教育普及事業について

1 学校との連携

(1) 各学校との連携

- ①館外講師（出前授業）・・・・・・・・当館職員が仙台市内の各学校に出向き、学習プログラムを実施。
※社会科プログラム「伊達政宗と仙台」、図工・美術科プログラム「もんきりがたで遊ぼう」等
- ②教材貸出・・・・・・・・「楽山公行列図巻」パネル等の教材貸出を実施。
- ③学校向け広報物の作成・配布・・博物館の教育普及事業を紹介する印刷物「仙台市博物館からのご案内」
休館中の博物館情報を随時紹介する「博学だより」

(2) 大学との連携

「まちなか博物館講座」（東北工業大学との連携事業）

- ①第11回「政宗のよろいを未来へ！～のぞいてみよう博物館の仕事～」
日時：令和4年5月14日（土）13：30～14：30
講師：小田嶋なつみ（当館学芸員）
会場：東北工業大学一番町ロビー2階ホール
参加者：55人（対面11人、オンライン44人）
- ②第12回まちなか博物館講座「(テーマ未定)」 ※名品展（福岡市博、令和4年秋開催）に関連したもの
日時：令和4年10月～11月頃（予定）・
講師：未定
会場：東北工業大学一番町ロビー2階ホール

(3) 学校教員・教育機関との連携

- ①博物館活用研修（博物館主催）
日時：令和4年7月29日（金）9：00～12：00
講師：当館指導主事、学芸員
会場：仙台市教育センター
内容：博物館学習の具体例等を紹介
- ②社会教育施設連携研修（仙台市教育委員会文化財課と共催）
日時：令和4年7月27日（水）9：30～12：00
講師：当館指導主事、文化財課職員
会場：史跡陸奥国分寺・尼寺跡ガイド施設 学習室等
内容：博物館・文化財課の学校向け出前授業や文化財課施設の活用方法等を紹介
- ③小中学校図工・美術科研修（仙台市教育センターと共催）
日時：令和4年8月1日（月）9：30～15：30
講師：当館指導主事・学芸員、教育センター指導主事
会場：仙台市教育センター
内容：講話や体験活動等を通して、図工・美術科における博物館の活用について紹介

2 講座・イベント

(1) 講座・・・・・・・・博物館で開催できないため、市民センターを借りて共同で開催。

- ①仙台市博物館巡回講座（新規事業）

講師：当館学芸員

会場：片平市民センター等、7カ所の市民センター（全15回）

内容：博物館所蔵の文化財を紹介しつつ、仙台の歴史を文化の魅力の魅力を語る。講座は「伊達政宗」「仙台藩の武具と工芸品」「江戸時代のアートな仙台」「体験！プレイミュージアム」の4種。

②夏休み工作教室

講師：当館指導主事

会場：泉中央市民センター等、8カ所の市民センター（全8回）

内容：親子でふれあいながら、日本の伝統や文化に興味を持つ機会を提供する。

(2) 館外講師・・・市民センター老壮大学やその他団体からの要望に応じて講師を派遣。

(3) イベント

①夏休み自由研究サポートプロジェクト・・・博物館ホームページに歴ネットシートやまとめ用の新聞用紙等を掲載して自由研究の参考としてもらう企画を夏休みに合わせて実施予定。小中学生対象。

②仙台っ子歴史探検隊・・・・・・・・・・見学や体験活動を通して仙台の歴史について学ぶ企画を秋頃に実施予定。小学校上学年対象。

(4) 館外イベントへの参加・・・生涯学習課が小学5・6年生を対象にして開催する職業講座「楽学プロジェクト」に講師を派遣し、講座（「博物館の仕事」）を開催。

令和4年7月28日（木）に宮城野区中央市民センターで開催予定。

3 情報発信

(1) 印刷物の発行・・・・・・・・「博物館だより」や「館活動案内」（休館中の館のイベント、活動等の紹介リーフレット）を作成。博物館の歩みをまとめた『60年史（仮）』を発行予定。

(2) 動画の制作・配信・・・休館中で来館できなくても、仙台の歴史・美術・文化を知ってもらう機会を提供するため、外部団体と共同で動画を制作し、配信する。

(3) SNS等での発信・・・博物館ホームページで休館中の情報を掲載しているほか、ツイッターにも投稿。所蔵資料の紹介やイベント案内、館周辺の自然や季節の移ろいを伝える写真、出前講座・授業の報告など様々なトピックスを取り上げ随時発信する。

(4) ガイドアプリの活用・・・スマートフォンやタブレットを使って収蔵資料などの解説を文字や音声、画像で知ることができるアプリ「ポケット学芸員(Pocket Curator)」を活用し、200件程度の収蔵資料・項目を紹介。令和4年度もコンテンツを充実させる。

4 ボランティア活動

(1) 主な活動・・・当館の休館に伴い、ボランティア団体（三の丸会）も令和6年3月まで休会。休会中は、再開館後の解説活動に向けて、各部・班による自己研鑽のための勉強会等を開催する予定。

(2) 研修会等・・・当館学芸員等が講師を務め、会員向けの講座等を企画・開催する予定。

5 友の会

(1) 主な活動・・・休館中の令和4・5年度は、令和3年度会員が継続して入会し、活動を計画。

会員向けの講座や、文化財・施設等の見学セミナー、友の会だよりの刊行等を予定。

(2) 活動支援・・・博物館休館中も当館学芸員による講座等を実施して友の会の活動を支援する。また館の様々な活動についても会員へ周知して参加を促し、再開館後に向けたPRを行う。